



■第67回年次大会・講演募集掲載号

- 大会案内の会誌への掲載は次のとおりです。
- 11月号掲載：講演募集要項
 - 3月号の増刊号：プログラム冊子

■第67回年次大会の企画募集

第67回年次大会(2012年3月24日～27日、関西学院大学)の企画を募集します。招待講演、企画講演、チュートリアル講演、シンポジウムの位置付けは以下の通りです。

1. 招待講演：すでに成果が挙げられた研究において、その研究の中心的な役割を担った研究者に一般講演よりも長い時間で行っていただく講演。
2. 企画講演：一般講演よりも長い時間で行う次のような講演。
 - 今後成果が期待される分野の研究者による新鮮なテーマ
 - 国際交流を視野に入れた講演
 - 各種受賞記念講演（若手奨励賞受賞記念講演を除く）
 - その他、会員にとって魅力的な要素をもった講演
3. チュートリアル講演：他分野の研究者および大学院生等の初学者に対する解説を主とした講演。丁寧にわかりやすく講義形式で講演していただくために、招待・企画講演よりも長めの時間設定が可能。
4. シンポジウム講演：ある一つのテーマに沿って、様々な角度からそのテーマを代表する研究者に一般講演とは違った時間枠でしていただく一続きの講演。

これらはいずれも開催する領域の多くの会員が興味を持つとされるものを前提といたします。

I. 総合講演講師候補の募集

第67回年次大会において総合講演(2012年3月26日午前、関西学院高中部礼拝堂)を依頼したい企画をお持ちの会員は、所定の用紙により下記期日までにお申し出下さい。また、所定の用紙は本会ホームページ(URLは本号表紙参照)から入手されるか、または本会事務局にご請求下さい。ご提案については、理事会で審議し決定します。なお、講演者には下記の通り謝金、旅費を支払います。

記

- 提出期限：10月28日(金)
 謝金額：30,000円(手取り)
 旅費：本会規定による金額(詳細は本会事務局まで)

II. 領域「物理と社会」におけるシンポジウム等の企画募集

物理のコミュニティ全体に関わるような問題、本会から社会に向けて発信すべき事柄等で既存の領域に含まれないテーマについて扱う領域として「物理と社会」を設けています。この領域設置の背景、当面の方針、運営方法等につきましては会誌57巻9月号710ページ「本会記事」欄をご参照下さい。

お申込は下記期間中、下記URLにてお願いします。登録完了後、登録番号及びパスワードがメールで送られますので、内容をご確認ください。(受付期間中はご提案頂いた内容について何度でも修正可能です。)

- URL:<https://www.gakkai-web.net/gakkai/jps/session/>
 受付期間：2011年10月7日～10月31日

III. 招待講演、企画講演、チュートリアル講演、シンポジウムの規則

1. 自薦提案の禁止：招待講演、企画講演、チュートリアル講演を通じて、提案者と講演者(推薦理由に掲げる論文の共著者を含む)が同一の提案書は審査の対象としない。
 2. 重複登壇の禁止：シンポジウム、招待講演、企画講演、チュートリアル講演を通じて講演登壇は1回とする(シンポジウムでの10分以内の「趣旨説明」や「まとめ」等の登壇は、ここでいう講演とはみなさない)。ただし、特別な理由がある場合に限り、領域委員会の審議および理事会の承認により許可することがある(この場合、理由書を提出すること)。
 3. 提案者の責務：シンポジウム提案者は、10分以内の「趣旨説明」または「まとめ」の登壇者として加わることができる。また、当該企画が滞りなく開催されるよう座長の一人としての任を果たすとともに、概要集原稿や会期後の報告にも責任を持って協力することとする。また、総合討論やパネル討論等を設ける場合は、提案者は、パネリストとしてではなく、座長もしくは司会者という立場でのみ加わることができる。
 4. シンポジウムにおける所属重複規制：シンポジウムを構成する講演(「趣旨説明」や「まとめ」等を除く)は、一つの所属に偏らないことを原則とし、一つのシンポジウムで同じ部門(学科・専攻など)から2名以上の講演者が含まれている場合は、特別な理由がなければ認められない(特別な理由とは、異なる研究グループに属し、実験と理論など専門が異なる場合、それにシンポジウム遂行にとって重要な講演者と判断できる場合とする。またシンポジウムの講演者所属欄において、所属を略称表記すると同一になってしまうものは、違いがわかるように研究グループ名や研究室名まで記載すること)。さらに、シンポジウムにおいて、「趣旨説明」や「まとめ」等の登壇者と講演者が同一研究室であることは認められない。また、提案者と講演登壇者が同一研究室である場合も審査の対象としないことがある。
- ※シンポジウムは、特定グループの広報の場ではなく、重要なトピックについて広く議論を進める場です。所属重複規制は、同一グループの広報の場にならないように設けた規則です。
5. シンポジウムにおける占有時間規制：素粒子・核物理・宇宙関係およびビーム物理領域においては、シンポジウム講演は、休憩時間を含めて原則として3.5時間に収めるものとし、4時間を超えてはならない。物性関係においては、シンポジウム講演は、休憩時間を含めて原則3.5時間以内とする。
 6. その他の約束ごと：
 - 1) 招待講演、企画講演、チュートリアル講演、およびシンポジウムにおける講演の登壇者(およびプログラム記載)は1名に限るとする。(これは、共同研究であっても登壇者(およびプログラム記載)を複数とはしないとした規則である。)
 - 2) 講演概要集の原稿はシンポジウムの「趣旨説明」や「まとめ」も含めて各登壇者2枚までとする。
 - 3) 見込まれる聴講者数、講演希望日程、講演不可日等の事項を必ず記入すること(領域によっては複数の企画を並行して開催できないために講演希望日などの希望に沿えないことがあります。講演日やその他の希望がある場合は、必要に応じて、提案者は領域運営委員に連絡をとるようにして下さい)。

- 4) 登壇者の会員番号(非会員の場合はその旨を記入)と電子メールアドレスを必ず記入すること。
- 5) 前回の大会とあまり内容の変わらない招待講演、企画講演、チュートリアル講演ならびにシンポジウムは原則採択されない。

IV. 素・核・宇・ビーム領域と物性領域

1. 素粒子・核物理・宇宙関係・ビーム物理領域

素粒子・核物理・宇宙関係・ビーム物理領域における招待講演、企画講演、チュートリアル講演、シンポジウムの企画は従来通り領域運営委員会を中心として企画された後、素核宇領域プログラム小委員会において提案・審議され、理事会において実施する企画が決定されます。

各領域運営委員の氏名と所属は、次の通りです。

- | | |
|-------------|---|
| 素粒子論領域: | 小林達夫 (京大院理)
江尻信司 (新潟大院自然)
酒井忠勝 (名大院理) |
| 素粒子実験領域: | 山本和弘 (阪市大院理)
川崎健夫 (新潟大自然科学) |
| 理論核物理領域: | 板倉敦記 (高エネ機構)
青山茂義 (新潟大総合情報処理セ) |
| 実験核物理領域: | 関口仁子 (東北大院理)
佐藤 進 (原研先端基礎研セ) |
| 宇宙線・宇宙物理領域: | 早田次郎 (京大院理)
佐川宏行 (東大宇宙線研) |
| ビーム物理領域: | 中村 衆 (高エネ機構)
西内満美子 (原研関西) |

2. 物性領域

物性関係における招待講演、企画講演、チュートリアル講演、シンポジウムの企画を以下の通り一般会員から公募します。提案を希望する方は、次の説明に従って受付期間内に申込下さい。

1) 物性領域に含まれる分野

- 領域 1: 原子・分子, 量子エレクトロニクス, 放射線物理
- 領域 2: プラズマ基礎・プラズマ科学・核融合プラズマ・プラズマ宇宙物理
- 領域 3: 磁性, 磁気共鳴
- 領域 4: 半導体, メゾスコピック系・局在
- 領域 5: 光物性
- 領域 6: 金属, 超低温, 超伝導・密度波
- 領域 7: 分子性固体・有機導体
- 領域 8: 強相関係分野 (高温超伝導, 強相関 f 電子系など)
- 領域 9: 表面・界面, 結晶成長
- 領域 10: 誘電体, 格子欠陥, X線・粒子線, フォノン
- 領域 11: 統計力学, 物性基礎論, 応用数学, 力学, 流体物理
- 領域 12: ソフトマター物理, 化学物理, 生物物理
- 領域 13: 物理教育, 物理学史, 環境物理

- 2) 公募受付期間
2011年10月7日～10月31日

3) 提案申込方法

下記URLより受付期間中に、お申込み下さい。登録が完了後、登録番号ならびにパスワードがメールで送られます。もし登録番号、パスワードがお手元に届かない場合は、登録時に入力したメールアドレスが間違っている、或いは、正常に登録されていないことが考えられます。

受付期間中は何度でも登録番号、パスワードによって提案内容を修正できますので、期間中に入力内容に変更が生じた場合は、速やか且つ確実に修正をお願いします。

URL:<https://www.gakkai-web.net/gakkai/jps/session/>

4) 提案する上での注意事項

上記「III. 招待講演、企画講演、チュートリアル講演、シンポジウムの規程」に従って申込ください。

5) 採択の手順

各領域において領域代表と領域運営委員が提案書を検討後、物性プログラム小委員会において提案・審議され、理事会において実施する企画が決定されます。各提案の採否の結果につきましては、提案者に後日通知します。